



小鳥の森で観察してみよう 8

シ ×

分類：アトリ科

大きさ：体長 18cm

生態：北海道や本州の一部で繁殖する
小鳥の森では冬鳥。
太いくちばしで、エノキやカエ
デの種子を割って食べる。

小鳥の森での観察：

小鳥の森では冬に観察でき、
1月頃は給餌台で一生懸命に
ヒマワリの種を割りながら食
べる姿が観察される。

くちばしは冬は灰色
春になるとピンク色
かわる

羽の先は紺色で
きらきら光る



今回のイラストはきくちまゆこさんが描きました。

12月の自然

12月に入り、ベニマシコやシロハラ、マヒワなどの冬鳥を見る機会が増えましたがまだ、冬鳥を目にする機会が少ないように思います。

今年の冬鳥はいつもの年と比べて、わたって来る時期も遅かったようです。

小鳥の森でも、コナラの葉っぱが12月中旬頃までついていて、いつもより秋が長かったように感じました。

みなさんの周りの冬鳥はわたってきた時期はいかがだったでしょうか。



レンジャーだより (ながとレンジャーより)

春の準備

小鳥の森で春の気配を感じるようになるのは1月です。野鳥ではジュウカウのさえずりが聞こえてくるようになります。春に向けて練習を始めるころなのかもしれません。

雪のとけた場所からはフキノトウが顔をだします。12月下旬には芽を出しているのですが、雪の下に隠れなかなか見つけることができません。寒さが一時的でも緩むと雪の下から顔を出します。小鳥の森で見つかるのは毎年1月上旬です。

寒い日が続いても春の準備は始まっています。小さな春を見つけませんか？



ボランティアによる落葉かきをおこないました

12月上旬、少しでも小鳥の森の放射線量を下げようと野鳥の会ふくしま、里山保全クラブ、小鳥の森のボランティアガイド、小鳥の森開園以来利用していたという個人の方など多くの皆さんが集まり、落ち葉かきのボランティアを実施して頂きました。

人の利用の多いセンター周辺を中心に行い、作業方法については福島大学・黒沢高秀さんに助言、指導を頂き実施しました。

森林の除染方法が具体的に決まっていない現状では、限られた場所と限られた作業しかできませんでしたが、「できることから始めよう」「小鳥の森のために何かしたい」という、ボランティアに参加した皆さんの気持ちが何よりもうれしく感じられました。

参加、ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

福島大学の黒沢さんから作業の手順の説明を受けるボランティアの皆さん。約50名の方が集まってくれました。



あだたら生物クラブがやってきます

フォレストパークあだたら・NPO法人わかば自然楽校・福島市小鳥の森との協働イベント「あだたら生物クラブ」が2月26日（日）に小鳥の森で開催されます。

「あだたら生物クラブ」は生き物を通して自然環境を知ることのできる人を増やすべくスタートした講座で、今回のテーマは『野鳥の巣から環境を知る』です。

講師として小鳥の森・チーフレンジャーの長渡真弓さんが担当する予定です。

日時：平成24年2月26日（日）10:00～15:00

会場：福島市小鳥の森ネイチャーセンター

定員：30名

参加費用：学生1000円 一般1500円

* 双眼鏡や野鳥図鑑等をお持ちの方はぜひご持参下さい



*** 福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
福島市小鳥の森のホームページをご覧ください。**

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2012年1月№319/企画・発行：福島市小鳥の森 / (公財) 日本野鳥の会・サンクチュアリ室